

～建設工事での実用化に向けた取り組み～

『重量物運搬ドローン』の飛行実証を本格的に開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)は、株式会社竹中工務店(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:佐々木正人)と共同で、重量物運搬ドローンの実証試験をかねてより実施してまいりましたが、今春から始まる大阪・関西万博の建設工事での実用化を見据え、飛行実証に関する本格的な取り組みを開始いたします。



【飛行状況】

アクティオ大阪 DL センター(大阪府大阪市住之江区)から大阪・関西万博の会場となる夢洲(ゆめしま、大阪市此花区)までは陸路にして約4 km程ですが、道路が少なくアクセスが限られ渋滞が予想されるため、建設工事で使用する機材等の運送に時間がかかることが懸念点でした。そこで、いち早く現場に機材等を輸送する手段として、大型ドローンによる運搬を検討しております。古河産業株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:横田敦彦)と共同で、最大49kgの荷物を運搬することができる重量物運搬ドローンを開発し、検証いたしました。

同ドローンは、横揺れ・縦揺れに対して自動でコンパスをキャリブレーションする機能を搭載しており、安全かつ、操縦者の負担も少ないのが特徴です。ドローンは自律飛行し、水中ポンプや電工ドラムといったアクティオのレンタル商材や、お弁当やドリンクなどを、海上ルート輸送、地上ダイレクト輸送で想定しています。

アクティオは「レンタルティンク」のノウハウを活かし、今後も現場のニーズに応える製品やサービスの提供を行っていきます。



資材投入状況(専用箱と吊下げ式の2通り)

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっきくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 道路機械事業部 ICT サポート課 担当:日南 TEL:03-6666-2262